

平成29年3月16日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成29年1月～3月期実績、平成29年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 平成29年3月3日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
130企業 (回答率86%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	25	2	2	2	2	9	7	8	7	4	4	22
建設業	26	2	2	3	3	13	12	5	5	3	3	25
小売業	36	10	8	3	2	12	10	9	9	2	2	31
飲食業	20	6	6	2	1	5	5	6	6	1	0	18
宿泊業	22	8	6	6	5	8	6	0	0	0	0	17
サービス業	21	2	2	1	1	12	8	3	3	3	3	17
合計	150	30	26	17	14	59	48	31	30	13	12	130

《3》 調査項目

- ①売上高      ②仕入単価      ③採算性      ④資金繰り      ⑤景況感  
⑥従業員の人数      ⑦直面している経営上の問題      ⑧今後の取組み  
⑨今期の降雪による影響      ⑩自由コメント

【平成29年1～3月期実績】

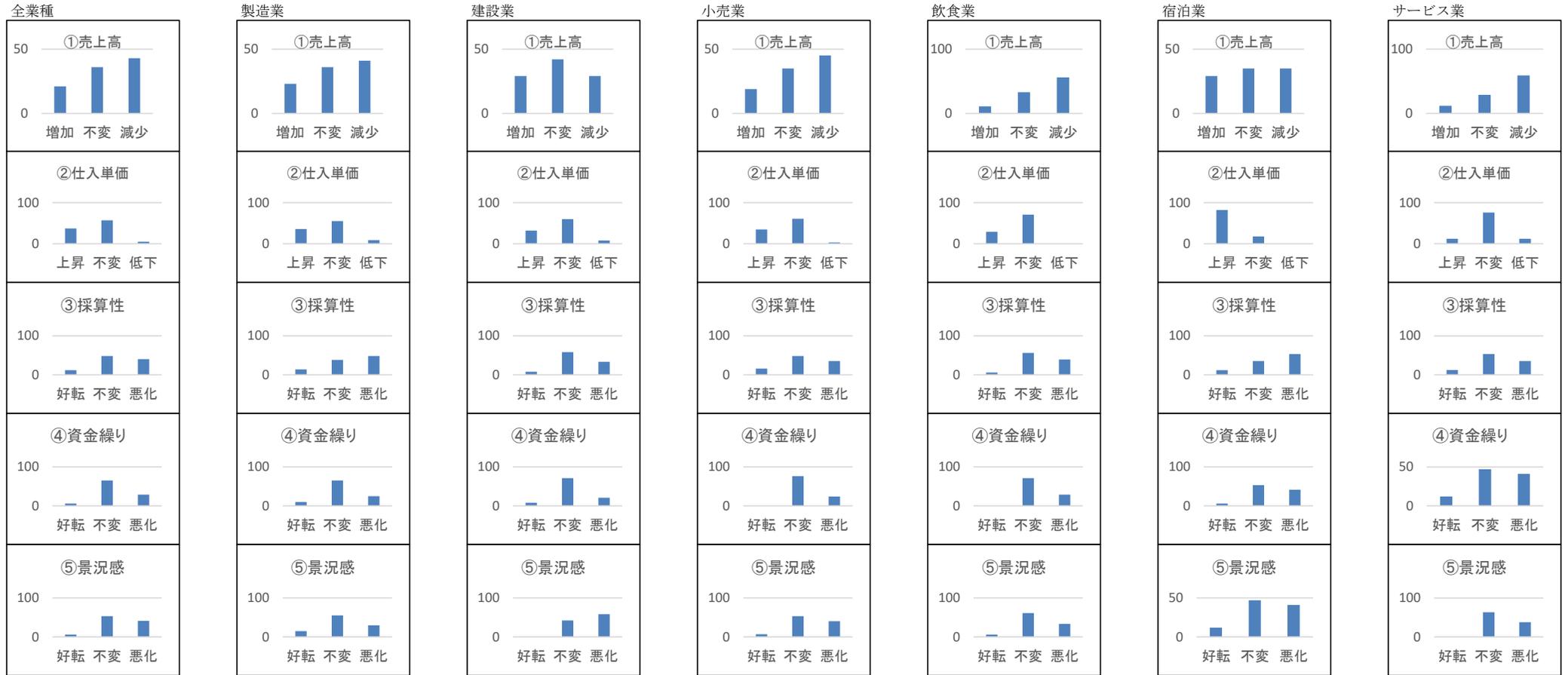
(1)	全業種の売上高DIは、（前期▲16→）▲27（前期差11ポイント減）となりマイナス幅が拡大した。
	業種別売上高DIは、建設業が上昇し、宿泊業が横ばいで、製造業、小売業、飲食業、サービス業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、（前期40→）30（前期差10ポイント減）となりプラス幅が縮小した。
	業種別仕入単価DIは、建設業、宿泊業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、（前期▲34→）▲29（前期差5ポイント増）となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業が上昇し、宿泊業、サービス業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、（前期▲13→）▲21となり（前期差8ポイント減）となりマイナス幅が拡大した。
	業種別資金繰りDIは、製造業、小売業が上昇し、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、（前期▲34→）▲30（前期差4ポイント増）となりマイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、飲食業が横ばいで、建設業が低下した。

【平成29年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲17となり10ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別売上高DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、39となり9ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、小売業、サービス業が上昇し、飲食業が横ばいで、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲28となり1ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別採算性DIは、製造業、小売業、宿泊業が上昇し、サービス業が横ばいで、建設業、飲食業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲20となり1ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別資金繰りDIは、小売業、飲食業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲28となり2ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別の景況感DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成28年1月～3月）と比べた今期（平成29年1月～3月）の状況



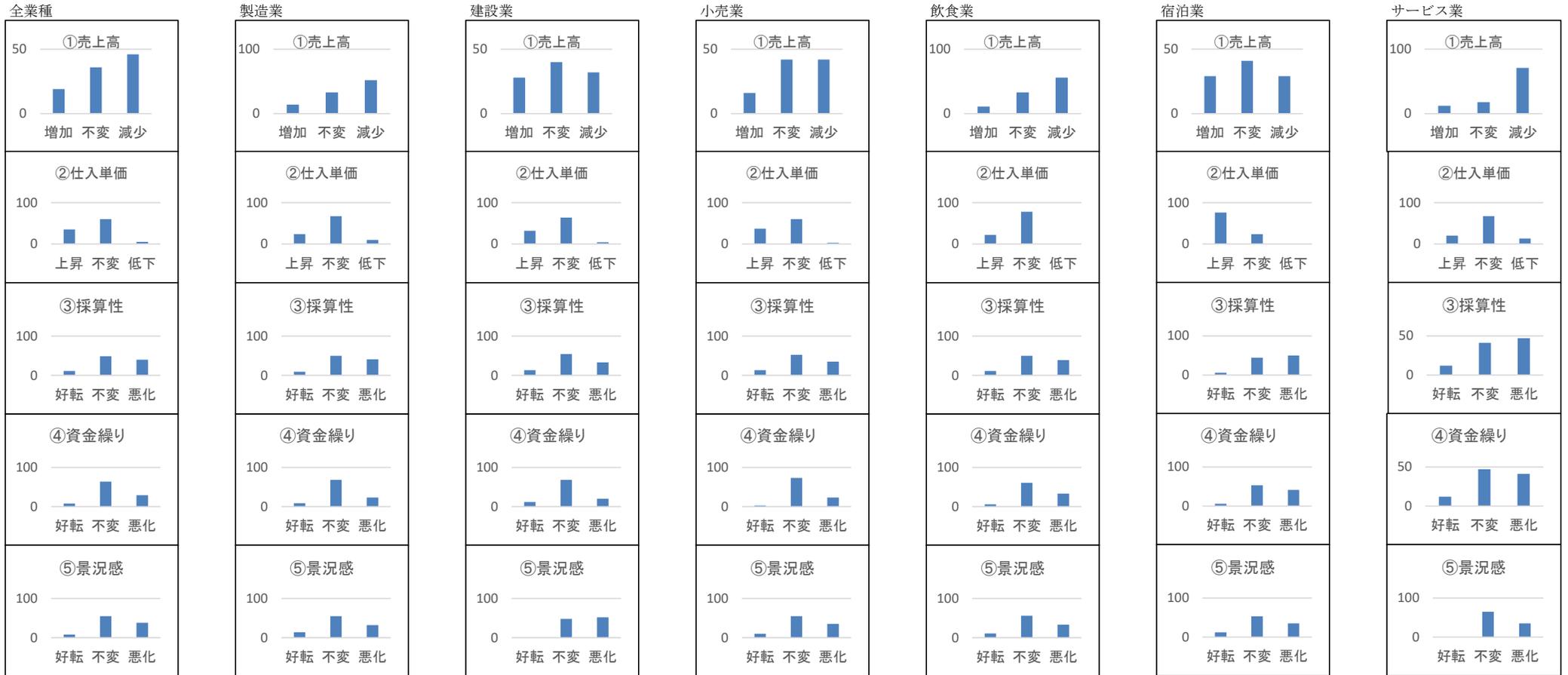
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲22	▲18	0	▲26	▲45	▲6	▲47
仕入単価	32	27	24	32	29	82	0
採算性	▲28	▲34	▲25	▲19	▲33	▲41	▲23
資金繰り	▲23	▲15	▲13	▲24	▲29	▲35	▲29
景況感	▲35	▲15	▲58	▲33	▲27	▲29	▲38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（平成28年10月～12月）と比べた今期（平成29年1月～3月）の状況



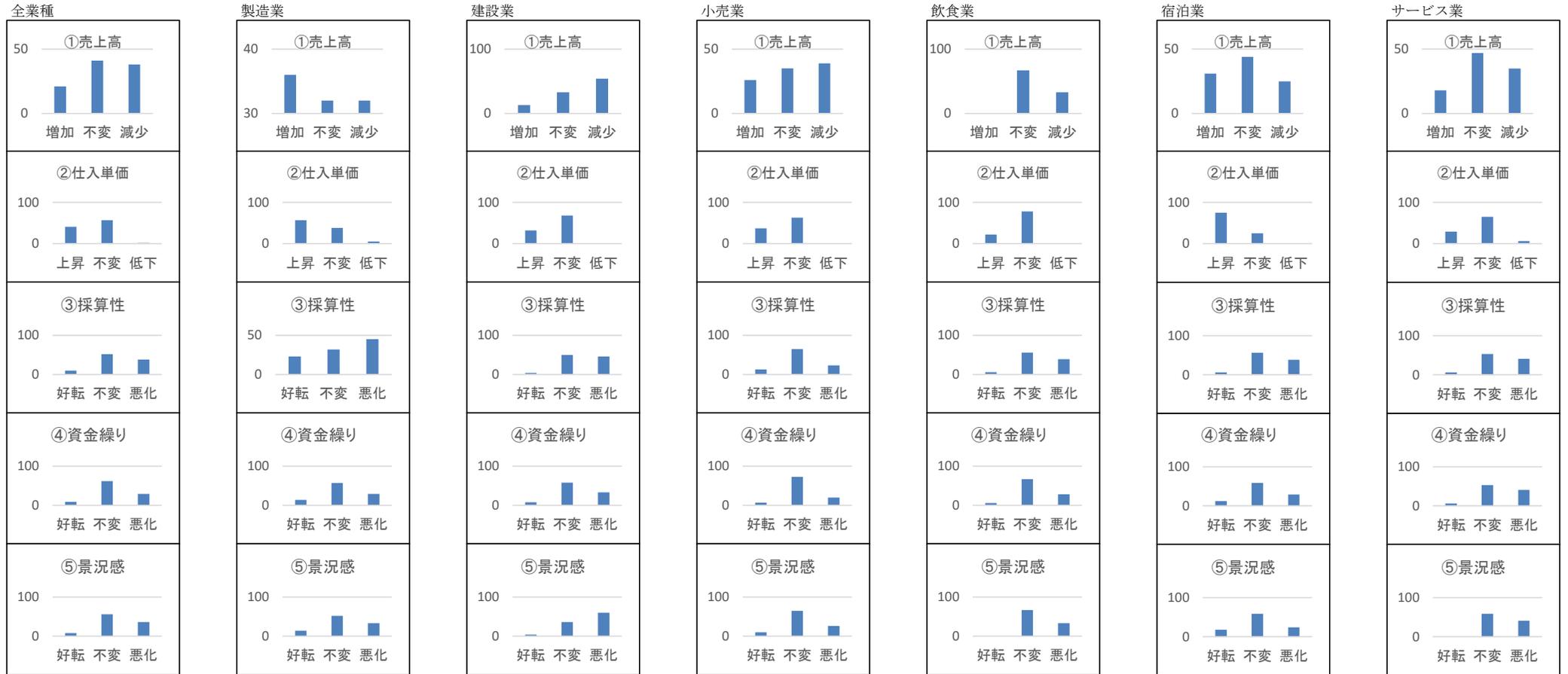
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 27	▲ 38	▲ 4	▲ 26	▲ 45	0	▲ 59
仕入単価	30	14	28	34	22	76	7
採算性	▲ 29	▲ 32	▲ 20	▲ 22	▲ 28	▲ 44	▲ 35
資金繰り	▲ 21	▲ 14	▲ 8	▲ 20	▲ 27	▲ 35	▲ 29
景況感	▲ 30	▲ 18	▲ 52	▲ 25	▲ 22	▲ 23	▲ 35

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（平成29年1月～3月）と比べた来期（平成29年4月～6月）の見通し

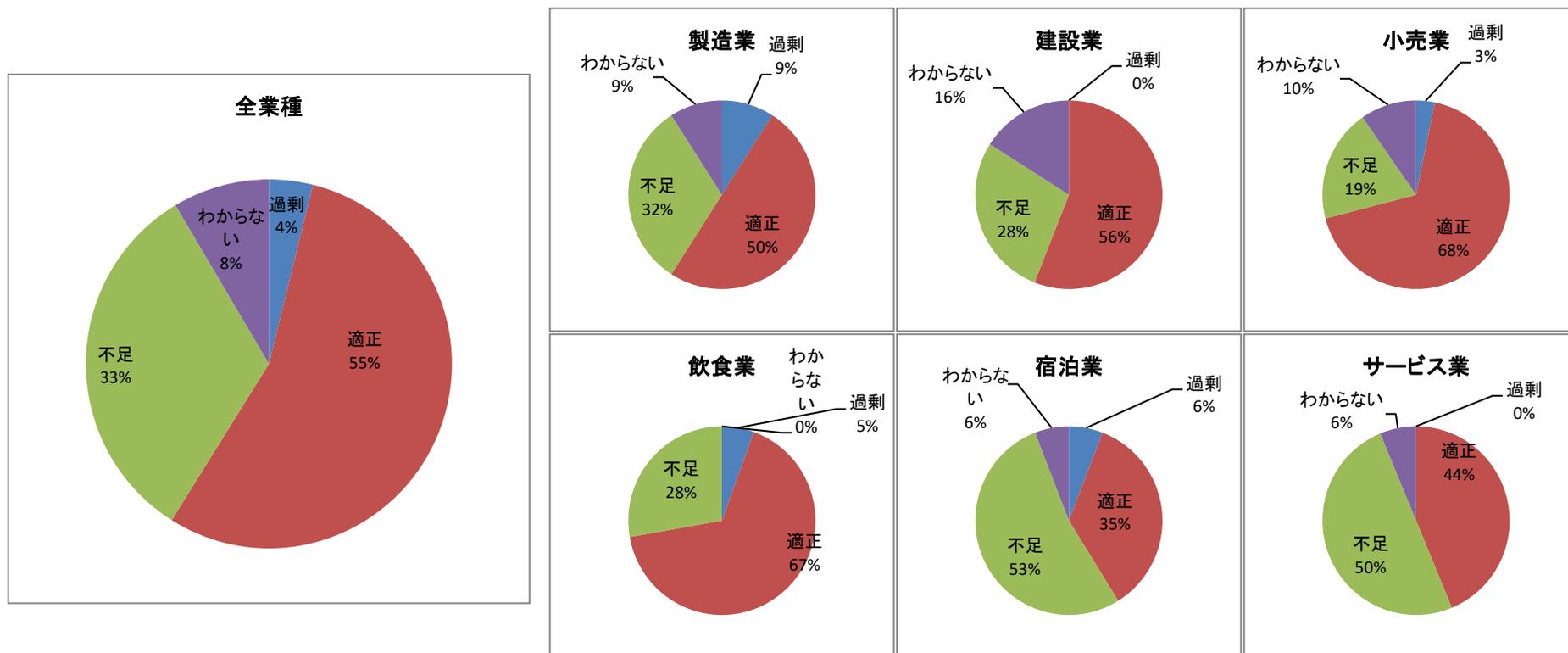


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲17	▲4	▲41	▲13	▲33	▲6	▲17
仕入単価	▲39	▲52	▲32	▲37	▲22	▲75	▲23
採算性	▲28	▲22	▲42	▲10	▲33	▲32	▲35
資金繰り	▲20	▲15	▲25	▲13	▲22	▲17	▲35
景況感	▲28	▲19	▲56	▲16	▲33	▲6	▲41

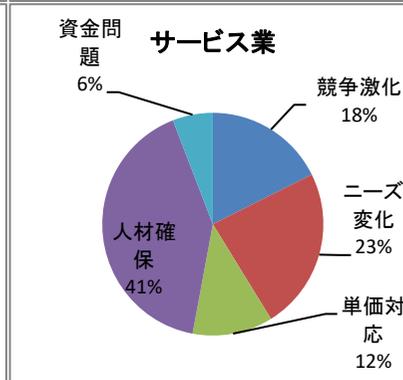
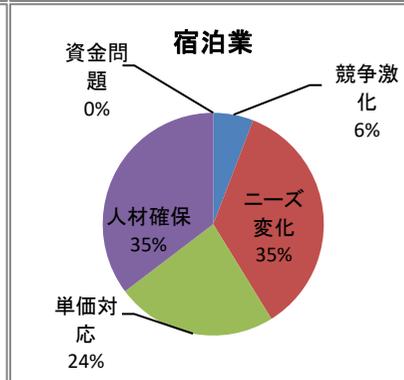
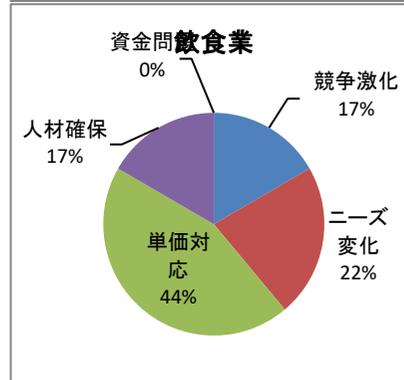
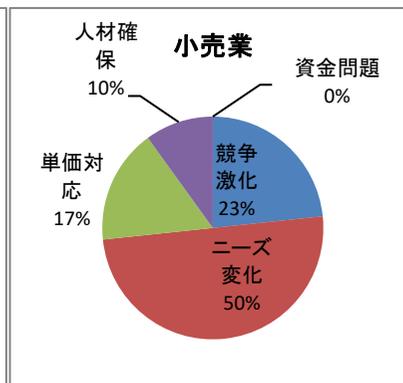
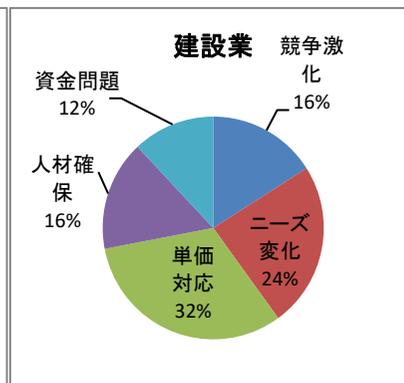
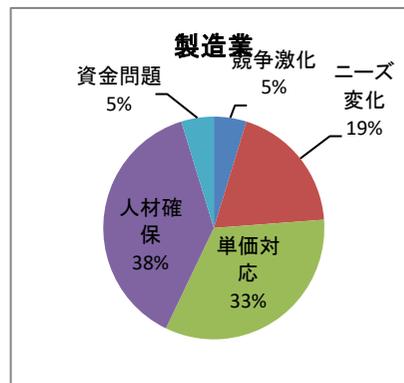
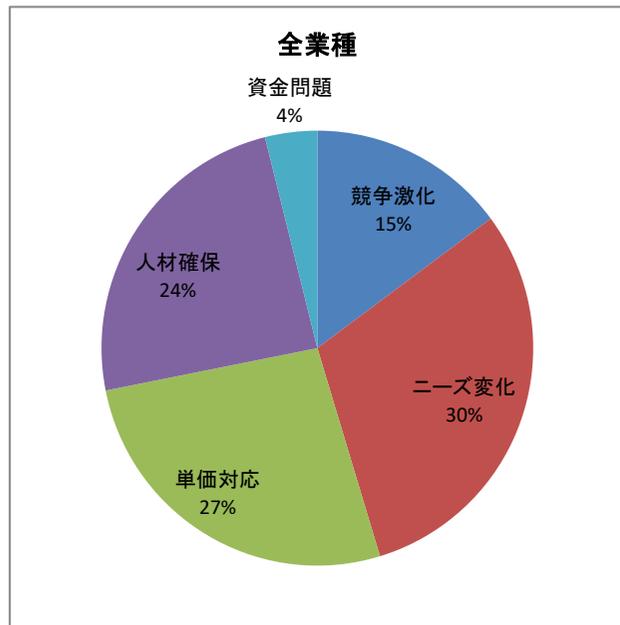
(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



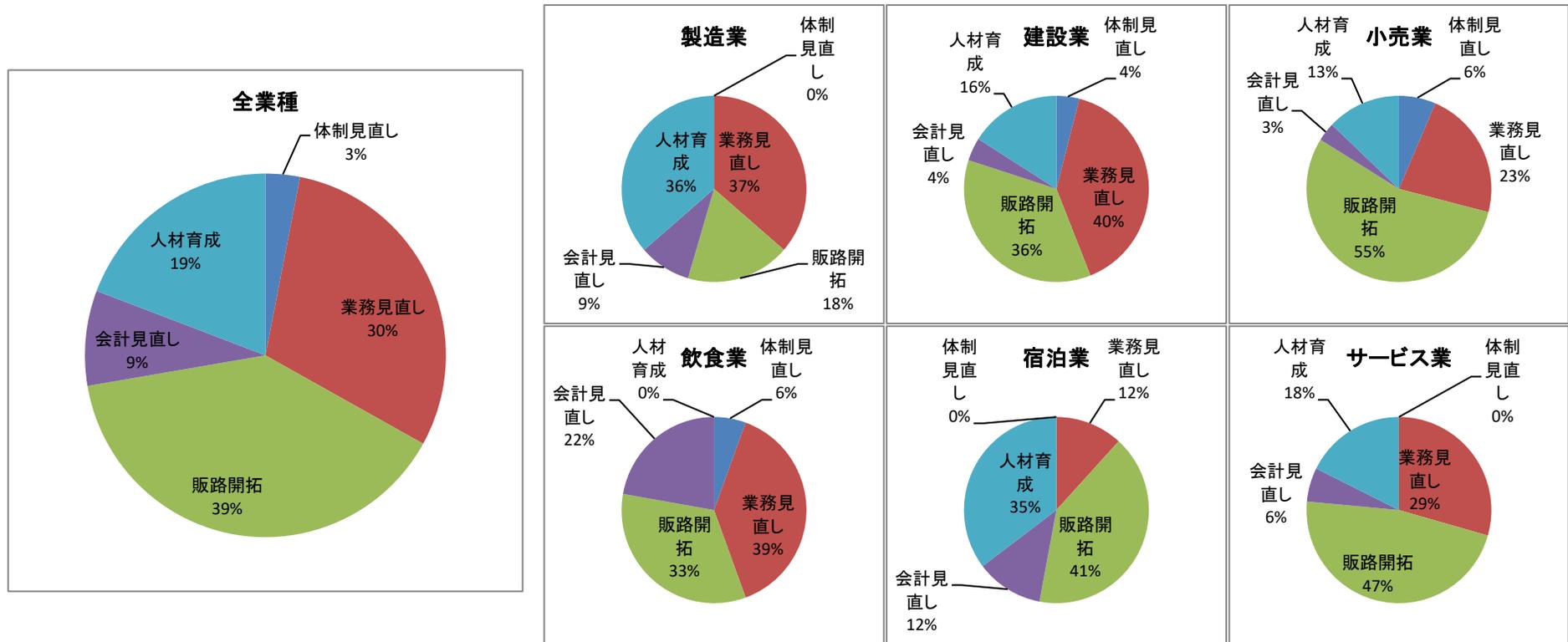
従業員の人数 (件数)	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
過剰	5	3.9%	2	9.1%	0	0.0%	1	3.2%	1	5.6%	1	5.9%	0	0.0%
適正	71	55.0%	11	50.0%	14	56.0%	21	67.7%	12	66.7%	6	35.3%	7	43.8%
不足	42	32.6%	7	31.8%	7	28.0%	6	19.4%	5	27.8%	9	52.9%	8	50.0%
わからない	11	8.5%	2	9.1%	4	16.0%	3	9.7%	0	0.0%	1	5.9%	1	6.3%
合計	129		22		25		31		18		17		16	

【5】直面している経営上の問題点について



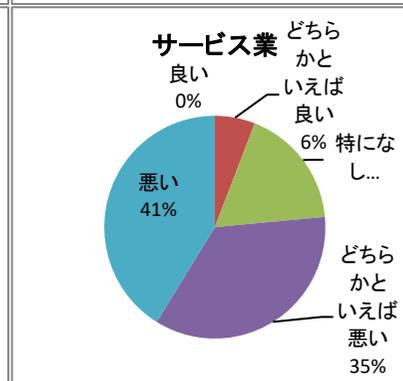
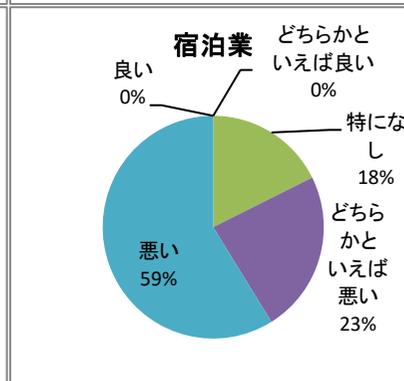
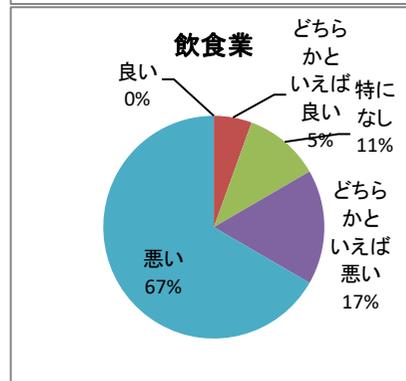
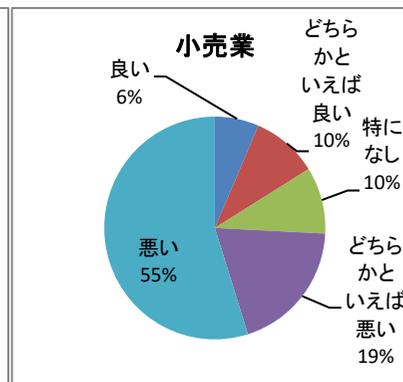
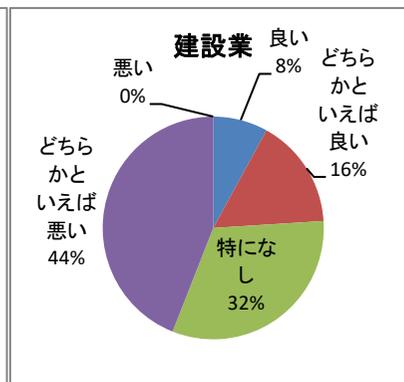
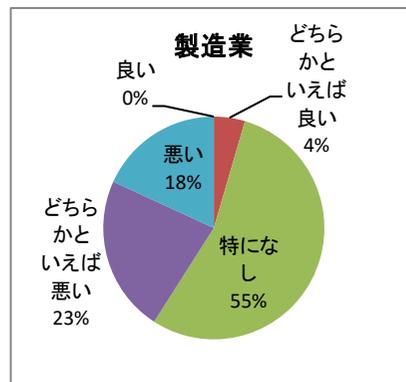
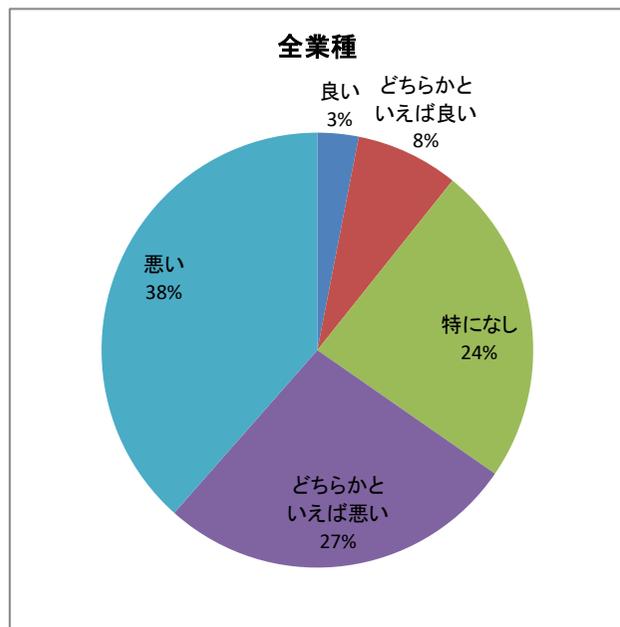
直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	19	14.8%	1	4.8%	4	16.0%	7	23.3%	3	16.7%	1	5.9%	3	17.6%	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	39	30.5%	4	19.0%	6	24.0%	15	50.0%	4	22.2%	6	35.3%	4	23.5%	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	34	26.6%	7	33.3%	8	32.0%	5	16.7%	8	44.4%	4	23.5%	2	11.8%	単価対応
必要な人材の雇用確保	31	24.2%	8	38.1%	4	16.0%	3	10.0%	3	16.7%	6	35.3%	7	41.2%	人材確保
事業資金の借入難	5	3.9%	1	4.8%	3	12.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	資金問題
合計	128		21		25		30		18		17		17		

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
就業規則、労務管理体制の見直し	4	3.1%	0	0.0%	1	4.0%	2	6.5%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	体制見直し
業務の効率化、仕事の見える化	39	30.0%	8	36.4%	10	40.0%	7	22.6%	7	38.9%	2	11.8%	5	29.4%	業務見直し
販路開拓（新規市場開拓・海外展開等）	51	39.2%	4	18.2%	9	36.0%	17	54.8%	6	33.3%	7	41.2%	8	47.1%	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	11	8.5%	2	9.1%	1	4.0%	1	3.2%	4	22.2%	2	11.8%	1	5.9%	会計見直し
人材育成、社員教育	25	19.2%	8	36.4%	4	16.0%	4	12.9%	0	0.0%	6	35.3%	3	17.6%	人材育成
合計	130		22		25		31		18		17		17		

【7】今期の降雪による、事業への影響はありましたか？



今期の降雪による、事業への影響	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
良い影響があった	4	3.1%	0	0.0%	2	8.0%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	良い
どちらかといえは、良い影響があった	10	7.7%	1	4.5%	4	16.0%	3	9.7%	1	5.6%	0	0.0%	1	5.9%	どちらかといえは良い
特になかった	31	23.8%	12	54.5%	8	32.0%	3	9.7%	2	11.1%	3	17.6%	3	17.6%	特になし
どちらかといえは、悪い影響があった	35	26.9%	5	22.7%	11	44.0%	6	19.4%	3	16.7%	4	23.5%	6	35.3%	どちらかといえは悪い
悪い影響があった	50	38.5%	4	18.2%	0	0.0%	17	54.8%	12	66.7%	10	58.8%	7	41.2%	悪い
合計	130		22		25		31		18		17		17		

【8】今期の降雪により、どのような影響がありましたか？

1	製造業	駐車場の確保に苦戦。運送トラックの遅れによる仕事の遅れ。除雪による従業員の疲労。
2		観光客数減少。（製造小売り）
3		除雪費用と従業員の遅刻が発生した。
4		配送、操業の遅延。
5		除雪にかかわる時間、費用の増加、荷物の到着の遅れの発生。
6		フォークリフトのチェーンが切れた。
7		従業員の退社時間の繰り上げや勤務時間中の除雪など、平常営業と異なることをせざるを得なかった。
8	建設業	除雪の売上げが上がった。スキー場の入場者数は増えたが売上げには繋がらなかった（無料チケットの来場客が増えただけ）。
9		仕事のないときに仕事があった。
10		雪害による修理の依頼はあるが、保険での対応が多く、見積もりに時間を要し、又、小さな修理が多く手間がかかる。
11		降雪被害による住宅改修等の案件があった。
12		除雪の出動要請が多くありました。
13		構造物が破損。
14		積雪の為工事延期、駐車場所確保出来ず、修理移動不可など。
15		資材配送の遅延。
16		工事日程が思うように進まなかった。
17	小売業	冬用タイヤ、チェーンの需要が少しあった。
18		スキー場がバックに有る立地により、現地への営業が今季は雪に恵まれ昨年より上向いたが、全体で見ればお客さんは年々減少していると思われる。
19		店舗ネオン、フェンスなどの損傷。除雪を依頼（除雪費用発生）大雪の為業務活動、店舗営業の時間削減。
20		交通の混乱による観光客減少。
21		交通機関の不通によるお客様の減少がかなり大きく影響しました。
22		観光客の減少。
23		売上げが大幅に落ちた。

24	小売業	観光客相手の商売をしておりますが、雪で列車が運休しお客様が来れず売上げが大幅にダウンした。
25		雪掻きによる腰痛の悪化。
26		来客数の減少。
27		道路、及び駐車場の除雪が追い付かず、来店者が激減した。
28		食事予約の取り消し、他一般の入込の減。
29		売上げ減少。
30		スキー場が営業できたため週末の集客が見込めた反面、大雪で道路状況が悪かった日は売上げが激減。
31		駐車場面積の極端な減少と道路の除雪で出来た雪山による進入路の遮断。
32	飲食業	1月中旬まで雪が無く、スキー客が無かった。やはり、冬場はスキー客の割合が多いので痛い。雪が降ったら降ったで大雪過ぎて客が来なかった。
33		予約のキャンセル、町全体における観光客の減。
34		宿泊客のキャンセル等による観光客の減少。
35		除雪作業に追われた。
36		1月、2月と週末で積雪は観光産業には大きな痛手となりました。
37		電車が不通になったことで、売上げが大きく減少した。
38		土日のお客さんが大幅に減った。
39		週末の降雪により、車での来店が大半の観光客の立ち寄りがなくなった。駐車場の除雪が及び周辺道路の除雪が追い付いていなかった。
40		業者への委託も急にはできず、従業員での手作業であったため、かなりの重労働であった。キャンセル等はなかったが、交通の便が悪いため、送迎の依頼が相次ぎ、運転手、4輪駆動の車等の手配が必要となり経費がかかった。
41		高額な除雪費の発生。
42	お客様が食事に来なかった。除雪費用が予定より増加。	
43	宿泊業	雪の降り始めが遅く年末年始はキャンセルが続出した。2月の降雪は一気に降りすぎてお客様が来れなくなった。
44		人工コースが無くなり、滑走可能時期の遅延によるキャンセルと、それに伴って団体客が離れていってしまった事、週末に集中した降雪によるキャンセルも重なる。正月の雪不足による客足の減少と、次年度以降の行き先を決定する際の心象が心配である。
45		年末年始、そしてお正月過ぎの積雪までの間、予約の減少、キャンセルが出て昨年同様の雪不足時と同じようになりました。
46		宿泊客、日帰り客のキャンセルによる売上げの減少。

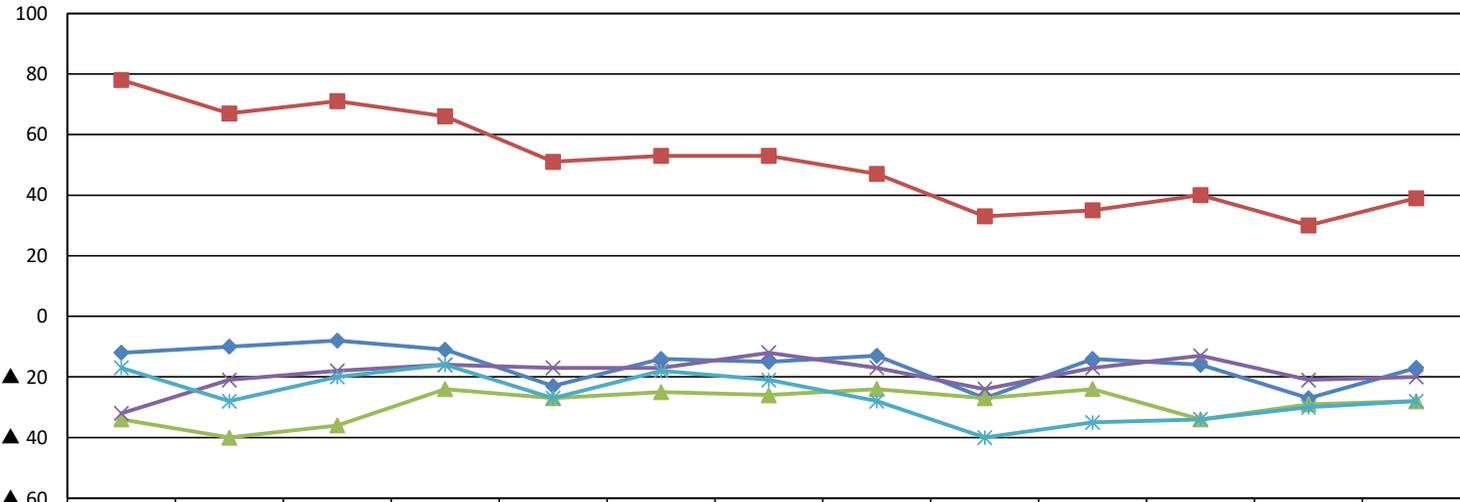
47	宿泊業	1月、2月の降雪は共に週末で公共交通機関が運休したので、90%以上のキャンセルとなり大幅な売上げ減となった。
48		雪不足の影響がイメージとなり、予約が減少しキャンセルも相次いだ。
49		旅行の中止。
50		お客様のキャンセル等。
51		キャンセルも有りJRの影響も有り本当に大変でした。仕入れもしており自然災害なので、仕方ないですが昔ならこれぐらいの雪でも交通機関は、動いてたのにと情けないですね。
52		
53		JRが4日間不通となり、キャンセルが多発した。
54		宿泊・日帰りのキャンセル増加。
55		降雪が一時に集中し、その時はキャンセルが出たが、シーズン初めの予想からするとシーズンが長くなるので、プラスマイナスゼロでしょうか。
56		交通網のトラブルにより、当日キャンセルが多発。事情が事情なので、キャンセル料もいただくことはできなかったもので、まるまる損失。
57	サービス業	多少の降雪なら発生しなかったかも知れないが、今回は何十年ぶりかの大雪だった為、バスの予定が2～3週間分程キャンセルになった。
58		客足が止まった。
59		移動時間の増加。
60		除雪の経費が増大すると同時に、観光客の入込が減少となり、町に活気がなくなった。
61		除雪が間に合わない為、臨時休業。
62		売上げには関係ありませんが、除雪機購予定に30万円の出費予定です。
63		日帰り温泉客が減少し、売上げ減となった。
64		工場の雨漏り、預かり車の損傷が発生。
65		短期的には降雪により、極端に客足が遠のいた。(外出を控える)長期的には暖冬の年より商品は動くと思う。

【9】自由コメント

1	既存事業にぶら下がり、過去にしがみついて変化に躊躇するのではなく、新規の開拓や、革新的な試みなどに常に挑戦して価値を膨らませていかなければならないと感じている（建設業）
2	今期は特に大雪に見舞われたのも大きかったが、IC開通に伴う道路幅拡大の工事に併せて何日間か店舗出入り口が機能しなかったこともあった。（小売業）
3	地域の固定客へのPRをと模索中。（飲食業）
4	観光客入込減少がみられました、荒天による漁業不振。（建設業）
5	かにの相場が高過ぎて、私たちの様な宿は、死活問題です。（宿泊業）
6	採用が極めて困難で、単純労働（清掃業務、食器洗浄業務等）者の採用が極めて厳しい。業界として外国人労働者の受入れを国にお願いしているが、難しい。商工会としても地域経済の維持のために強く要望をお願いします。（宿泊業）
7	海外への戦略に力をいれていきたい。（宿泊業）

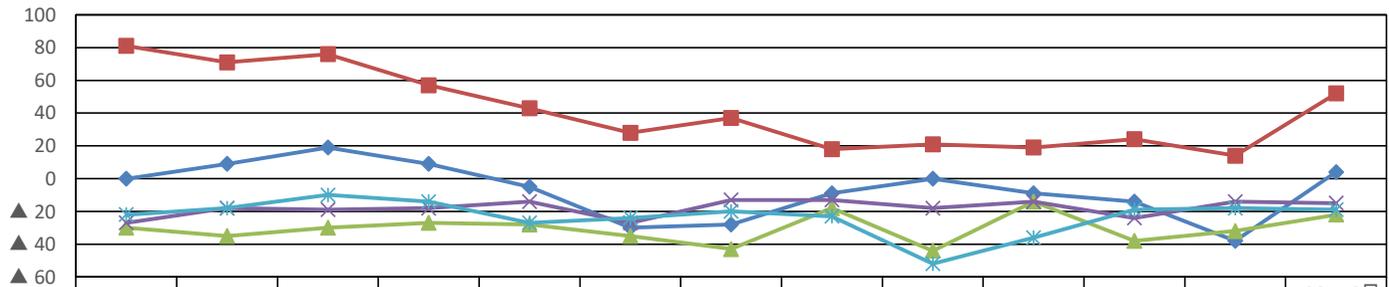
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



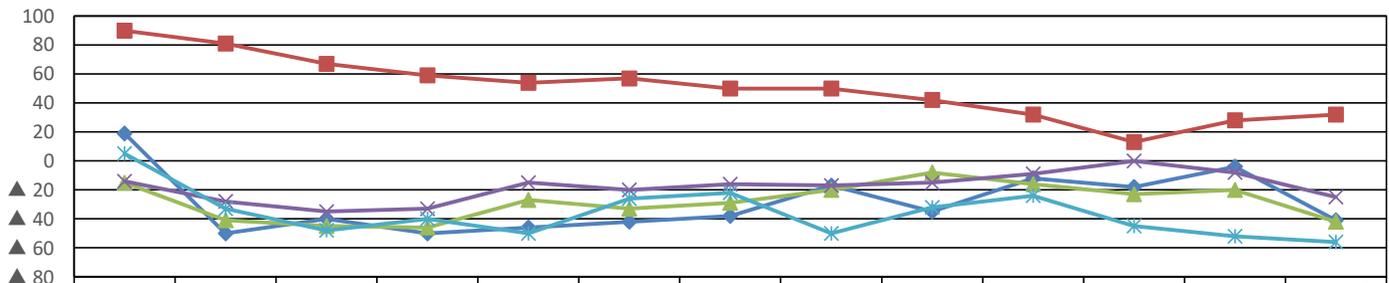
	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6見込み
売上高	▲ 12	▲ 10	▲ 8	▲ 11	▲ 23	▲ 14	▲ 15	▲ 13	▲ 27	▲ 14	▲ 16	▲ 27	▲ 17
仕入単価	78	67	71	66	51	53	53	47	33	35	40	30	39
採算性	▲ 34	▲ 40	▲ 36	▲ 24	▲ 27	▲ 25	▲ 26	▲ 24	▲ 27	▲ 24	▲ 34	▲ 29	▲ 28
資金繰り	▲ 32	▲ 21	▲ 18	▲ 16	▲ 17	▲ 17	▲ 12	▲ 17	▲ 24	▲ 17	▲ 13	▲ 21	▲ 20
景況感	▲ 17	▲ 28	▲ 20	▲ 16	▲ 27	▲ 18	▲ 21	▲ 28	▲ 40	▲ 35	▲ 34	▲ 30	▲ 28

### 製造業DI推移



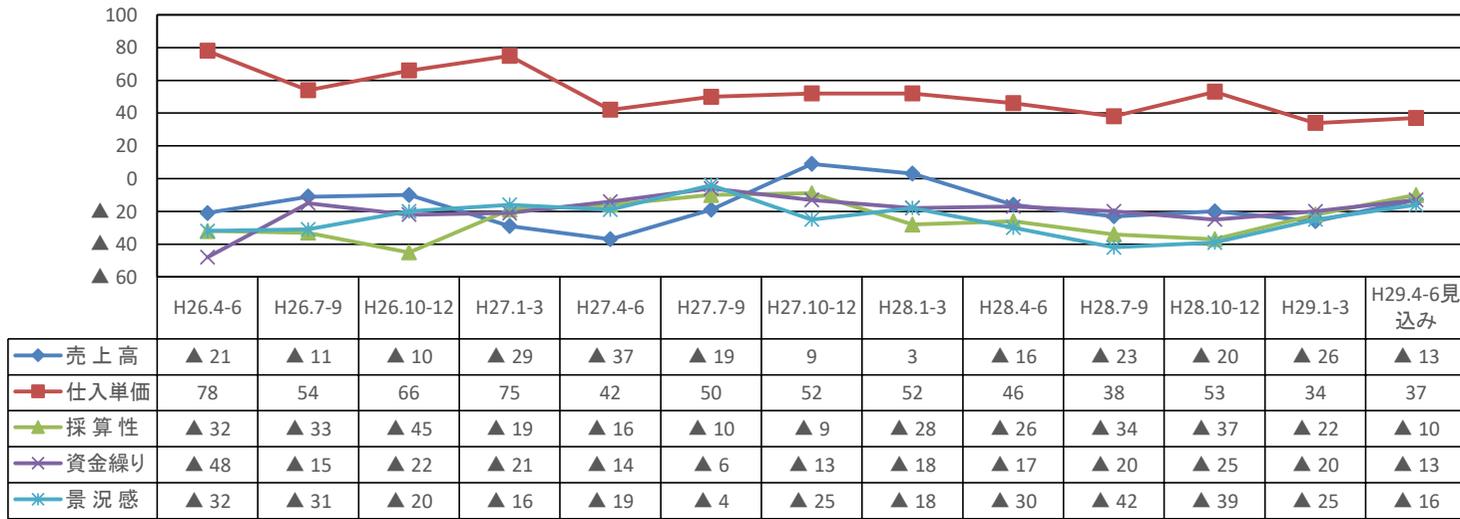
	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6見込み
● 売上高	0	9	19	9	▲ 5	-30	-28	▲ 9	0	▲ 9	▲ 14	▲ 38	4
■ 仕入単価	81	71	76	57	43	28	37	18	21	19	24	14	52
▲ 採算性	▲ 30	▲ 35	▲ 30	▲ 27	▲ 28	▲ 35	▲ 43	▲ 18	▲ 44	▲ 14	▲ 38	▲ 32	▲ 22
× 資金繰り	▲ 27	▲ 18	▲ 19	▲ 18	▲ 14	▲ 27	▲ 13	▲ 13	▲ 18	▲ 14	▲ 24	▲ 14	▲ 15
* 景況感	▲ 22	▲ 18	▲ 10	▲ 14	▲ 27	▲ 24	▲ 20	▲ 23	▲ 52	▲ 36	▲ 19	▲ 18	▲ 19

### 建設業DI推移

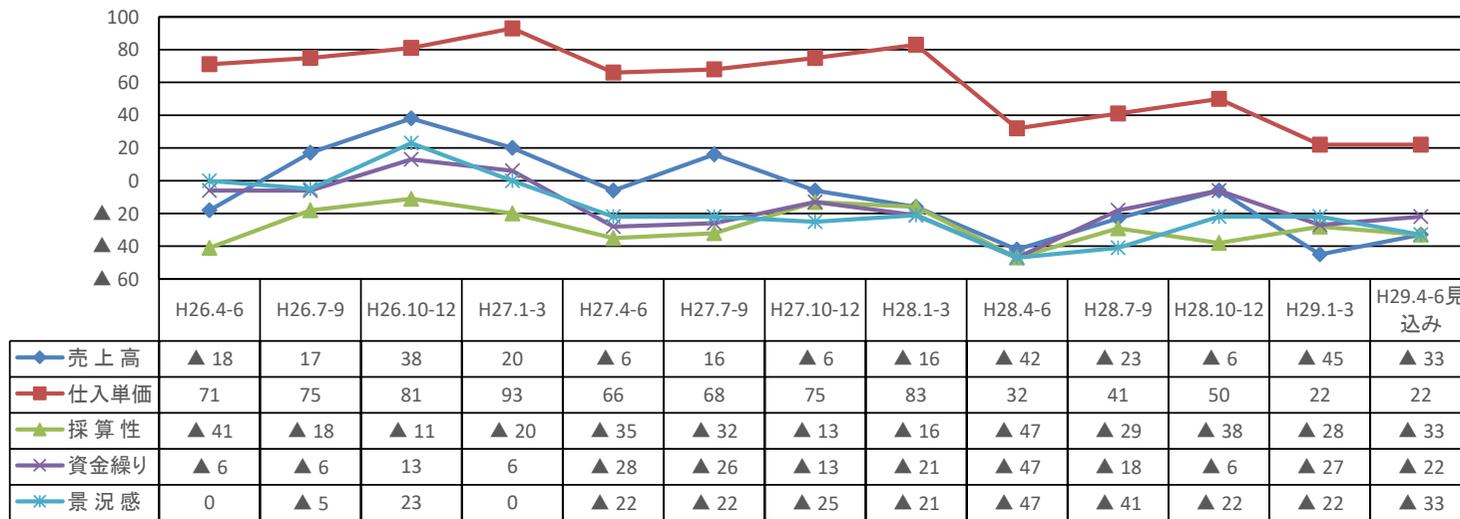


	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6見込み
● 売上高	19	▲ 50	▲ 40	▲ 50	▲ 46	▲ 42	▲ 38	▲ 17	▲ 35	▲ 12	▲ 18	▲ 4	▲ 41
■ 仕入単価	90	81	67	59	54	57	50	50	42	32	13	28	32
▲ 採算性	▲ 15	▲ 41	▲ 45	▲ 46	▲ 27	▲ 33	▲ 29	▲ 20	▲ 8	▲ 16	▲ 23	▲ 20	▲ 42
× 資金繰り	▲ 14	▲ 28	▲ 35	▲ 33	▲ 15	▲ 20	▲ 16	▲ 17	▲ 15	▲ 9	0	▲ 8	▲ 25
* 景況感	5	▲ 33	▲ 48	▲ 40	▲ 50	▲ 26	▲ 22	▲ 50	▲ 32	▲ 24	▲ 45	▲ 52	▲ 56

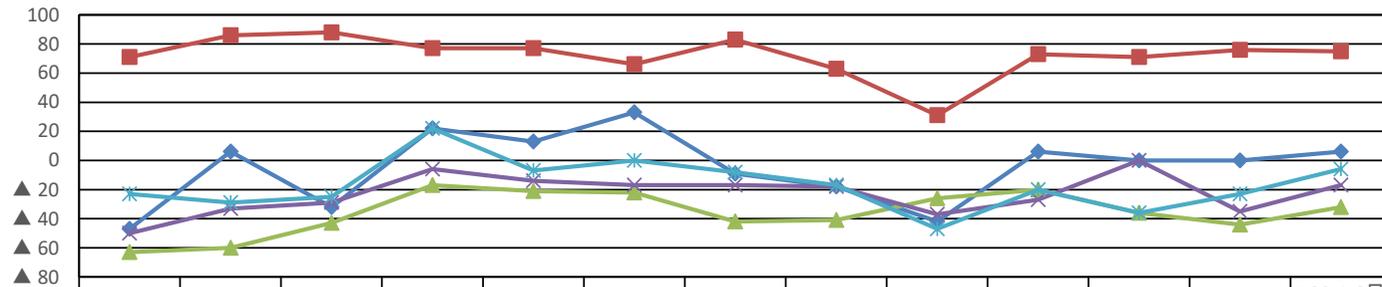
### 小売業DI推移



### 飲食業DI推移

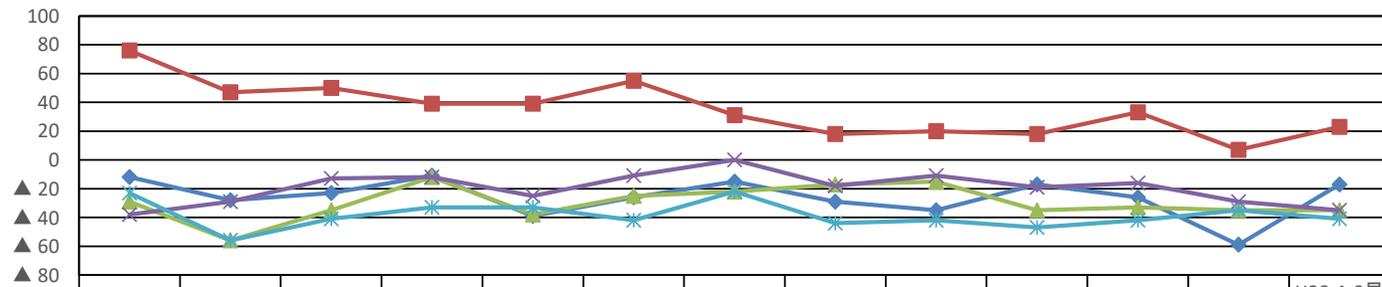


### 宿泊業DI推移



	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6見込み
● 売上高	▲ 47	6	▲ 32	22	13	33	▲ 9	-18	▲ 42	6	0	0	6
■ 仕入単価	71	86	88	77	77	66	83	63	31	73	71	76	75
▲ 採算性	▲ 63	▲ 60	▲ 43	▲ 17	▲ 21	▲ 22	▲ 42	▲ 41	▲ 26	▲ 20	▲ 36	▲ 44	▲ 32
× 資金繰り	▲ 50	▲ 33	▲ 29	▲ 6	▲ 14	▲ 17	▲ 17	▲ 18	▲ 37	▲ 27	0	▲ 35	▲ 17
* 景況感	▲ 23	▲ 29	▲ 25	22	▲ 7	0	▲ 8	▲ 17	▲ 47	▲ 20	▲ 36	▲ 23	▲ 6

### サービス業DI推移



	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12	H29.1-3	H29.4-6見込み
● 売上高	▲ 12	▲ 28	▲ 23	▲ 11	▲ 39	▲ 26	▲ 15	▲ 29	▲ 35	▲ 17	▲ 26	▲ 59	▲ 17
■ 仕入単価	76	47	50	39	39	55	31	18	20	18	33	7	23
▲ 採算性	▲ 29	▲ 56	▲ 35	▲ 12	▲ 38	▲ 25	▲ 22	▲ 17	▲ 15	▲ 35	▲ 33	▲ 35	▲ 35
× 資金繰り	▲ 38	▲ 29	▲ 13	▲ 12	▲ 25	▲ 11	0	▲ 18	▲ 11	▲ 19	▲ 16	▲ 29	▲ 35
* 景況感	▲ 23	▲ 56	▲ 41	▲ 33	▲ 33	▲ 42	▲ 22	▲ 44	▲ 42	▲ 47	▲ 42	▲ 35	▲ 41